

# 音読の仕方でお子様ที่困っていたら・・・

こんなサポートをしてみましよう！

---

宿題で音読が出ることは多いですね。

お子さんはすらすら読めているでしょうか。

音読について少し気になられたときは、次のことを試してみられてください。

# 1. ひらがな・カタカナ・漢字が混ざっている文がスムーズに読めないとき

## (1) 文に斜線を入れる。

### ① 文節ごとに斜線を入れる。

※文節とは、言葉を細かく区切った際に、不自然にならない一番小さなまとまりのことです。「ね」「よ」「さ」などをつけて言ってみて、不自然にならないところが文節です。

### ② 斜線を入れたところで区切りながら読む。

ほりばたで乗せた  
お客のしんしが  
話しかけました。

## (2) 言葉のまとまりに印をつける

### ① 音読をする。

### ② 音読したときに飛ばしたり、違う言葉に変えて読んだりしたところに印をつける。

### ③ 印がついた一文を読み直す。

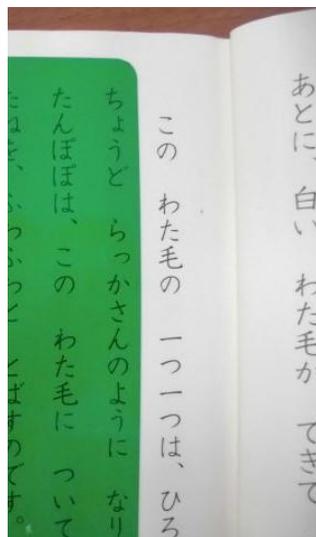
ふと目に入ったカードレールの  
下あたりに、かたむきかけた光  
がさしこんでいます。

## 2. 文字や行などを飛ばして読むとき

### (3) 持っているもので隠す

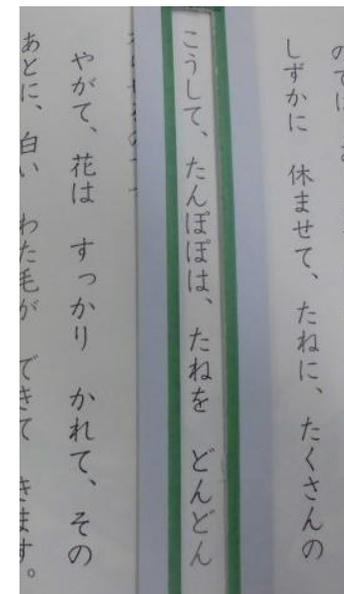
- ① 1行ずつ定規や下敷き、などで隠す。

※子どもに合わせて、見えやすい色や、半透明の素材などを選ばせる。



### (4) スリット入りシートを使う

- ① 工作用紙などで作る。
- ② 色や素材は子どもが使いやすいものを選ぶ。



☆ 読んでいる行に合わせて、読む場所に注目しやすく、前後の文章を目隠しができるため現在の進捗が分かりやすくなります。

※参考文献  
読み・書き・計算  
指導事例集

### 3. 宿題・家庭学習への取り組みに苦戦していたら…

- 得意なもの、取り組みやすいものから始める
  - ・まずはやりやすいものから始めて重い腰を上げる！
- 不得意なもの、取り組みにくいものは分ける
  - ・途中に小休憩を入れながら…
- 「家での時間割」を作って、ルーティン化する
  - ・次どうしたらよいか迷わないように毎日同じリズムで
- これらのことを本人と話し合って決める
  - ・自分のことは自分で考えさせる